

# 令和5年度鹿屋特別支援学校の教育

令和5年度、「鹿屋養護学校」から校名変更により「鹿屋特別支援学校」となって、本校教育目標の達成、本県及び大隅地区の特別支援教育の充実、そして共生社会の実現のために社会と連携して取り組んでいく。

## 1 学校グランドデザイン

### 【学校教育目標】

児童生徒の生命と人権を守るとともに、一人一人の教育的ニーズや特性・能力等に応じたきめ細かな教育を行い、自立や社会参加に必要な「生きる力」を培うために、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばしながら「げんきで、なかよく、がんばる」児童生徒を育成する。

### 【目指す児童生徒像】

- 命や健康を大切にして、心身共に健やかに成長する児童生徒・・・「げんきで」
- 気持ちのよいあいさつができ、人と協力しながら成長する児童生徒・・・「なかよく」
- 目標に向かって、主体的に学び続けながら成長する児童生徒・・・「がんばる」

### 【目指す学校像】

- 児童生徒や保護者、教職員が安心を感じることができる安全な環境の学校
- 児童生徒が自立と社会参加を実現するために必要な能力や可能性を最大限に伸ばす学校
- 高い専門性を基に特別支援教育のセンター的機能を果たし、地域から信頼される学校
- 教職員が共通の目的をもって、お互いに高め合いながら協働する学校

### 【目指す教職員像】

- 児童生徒に寄り添い、一人一人の成長を支える高い人権感覚と専門性をもつ教職員
- 学校教育目標の達成に向け、豊かな想像力と情熱をもち、同僚性を発揮できる教職員
- 高い倫理観と使命感をもち、児童生徒、保護者、地域、同僚から信頼される教職員

### 【経営方針】

- 児童生徒の人権を尊重し、自尊感情を育む教育の充実を図るとともに、命と心身の健康を守る安心・安全な教育環境の整備に努める。【安心・安全】
- 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図り、卒業後の自立や社会参加に必要な資質や能力を育てるキャリア教育に取り組む。【指導・支援】
- 家庭や地域と連携して「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すとともに、特別支援教育のセンター的機能を発揮し大隅地区の特別支援教育の充実を図る。【地域連携】
- 教育公務員としての使命と職責を自覚し、専門性の向上と服務規律の厳正確保に努めるとともに、同僚性を発揮して業務改善と信頼される学校づくりに取り組む。【研修・服務】

#### 【安心・安全】

- 人権教育、生徒指導の充実
- 健康増進、感染症予防対策
- 安全指導、防災教育の充実
- 医療的ケアの体制の整備
- 安全点検、事故防止の徹底
- 危機管理体制の整備

#### 【指導・支援】

- 個別の教育支援計画、指導計画の活用
- カリキュラム・マネジメントの推進
- 主体的・対話的で深い学びの授業実践
- 授業や教育課程の改善
- キャリア教育、進路指導の充実
- 基本的生活習慣の確立

#### 【地域連携】

- 地域の教育資源の活用
- 交流及び共同学習の充実
- センター的機能の充実
- 情報発信による理解啓発
- 学校評価による教育改善
- 社会参加する意欲の醸成

#### 【研修・服務】

- 自己研修による資質向上
- 教師相互の学び合いの促進
- ICT活用能力の向上
- 法令遵守、服務規律の徹底
- 効率的、効果的な業務の推進
- 同僚性、協働性のある職場づくり

## 2 令和5年度の重点的取り組み

### 【安心・安全】

児童生徒の人権を尊重し、自尊感情を育む教育の充実を図るとともに、命と心身の健康を守る安心・安全な教育環境の整備に努める。

- 児童生徒一人一人を大切にされた人権教育、生徒指導の充実により、元気な心を育む。
- 家庭等と連携し、児童生徒の健康の維持、増進と感染症予防対策の徹底を図る。
- 全教育活動をとおして、児童生徒の健康や安全、防災に関する知識、技能を育てる。
- 医療的ケアを安全に実施するため、信頼関係に基づいた校内体制の整備を行う。
- 施設設備の安全点検や管理の徹底、「ヒヤリ・ハット」の共有と事故防止対策を行う。
- 実効性のある危機管理マニュアルの改善と職員の危機管理意識の高揚を図る。

### 【指導・支援】

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図り、卒業後の自立や社会参加に必要な資質や能力を育てるキャリア教育に取り組む。

- 個々の教育的ニーズに応じた個別的教育支援計画や個別の指導計画の作成と活用を行う。
- 一人一人の「生きる力」の育成を目指したカリキュラム・マネジメントの推進を図る。
- ICTの活用や指導方法等を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を行う。
- 一人一人の学びの姿や成果を評価し、より良い授業や教育課程のための改善につなげる。
- 卒業後の生活を見据え、一貫性、系統性のあるキャリア教育、進路指導の充実を図る。
- 家庭等と連携して、気持ちのよいあいさつや基本的な生活習慣の確立に取り組む。

### 【地域連携】

家庭や地域と連携して「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すとともに、特別支援教育のセンター的機能を発揮し大隅地区の特別支援教育の充実を図る。

- 児童生徒の体験的で豊かな学びを目指して、地域の人的・物的資源の活用を図る。
- 児童生徒の社会参加の経験やコミュニケーション力を育む交流及び共同学習の充実を図る。
- 地域の特別支援教育に関する相談支援や情報提供の充実、適切な就学相談の実施に努める。
- 本校の教育や、特別支援教育の理解啓発のために、積極的な情報発信を行う。
- 学校評価、学校関係者評価委員会の結果を基に、学校運営上の課題改善に努める。
- 全国障害者スポーツ大会、総文祭等を通じて、スポーツ、芸術、社会参加への関心を育てる。

### 【研修・服務】

教育公務員としての使命と職責を自覚し、専門性の向上と服務規律の厳正確保に努めるとともに、同僚性を発揮して業務改善と信頼される学校づくりに取り組む。

- かがしま県教員等育成指標に示された資質の向上を目指し、積極的な自己研修に取り組む。
- 特別支援教育の専門性や授業力の向上のため、日々の実践的な活気ある学び合いを推進する。
- ICTを活用した授業づくり、業務改善を目指したテーマ研修と授業公開の充実に取り組む。
- 体罰、ハラスメント、交通事故・違反等の防止に関するチェックリストや服務研修を行う。
- 行事や会議等の精選や工夫、校務支援システムの活用、教材教具の共有等に取り組む。
- 教職員一人一人の知識、経験等を生かし、同僚性、協働性を発揮する職場作りを行う。